

2019年度 入学式 理事長挨拶

日本女子体育大学、大学院に入学した新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ご参列のご父母・ご家族の皆様にも、心からお慶び申し上げます。また、ご多用の中、わざわざご来臨を賜りました来賓の皆様にも、厚く御礼申し上げます。

時代が「平成」から「令和」へと変わりゆく、節目の年の入学式となります。今後10年において第4次産業革命といわれる「IoT」「ビッグデータ」「人工知能」等をはじめとする技術革新が一層進展し、情報社会に続く人類史上5番目の新しい社会である「Society 5.0」の到来が予想されます。又、グローバル化が加速し、「持続可能な開発目標」の実現に向けて、皆さんは国を越えて活躍することが求められています。そういった新しい時代の第一歩を、この日本女子体育大学、大学院で過ごされる新入生の皆さんは、今、どのような希望を持って、ここに居られるのでしょうか。今後活躍するための原動力や基礎力は、単に蓄えた知識ではなく、まさしく困難を乗り越える努力と精神力、そして人と協調するに不可欠である信頼などの総合的な人間力であろうとおもいます。このキャンパスで多くの友人を作り、先輩や教員と出会い、様々なことを学修し、さらにはクラブ活動に励むことで培っていただきたい。二階堂学園は、皆さんの目標を達成させるために教育・研究の施設や設備など、学びと成長のための環境は整っています。人生で最も輝く4年間或いは2年間をここで過ごすわけですが、胸に抱いた高い志を忘れることなく持てる力を十二分に発揮して、個々の目標を実現するために、日々努力を積み重ねられることを期待しています。

さて、在学期間中には「オリンピック・パラリンピック競技大会」が東京で開催されます。皆さんの中には、競技参加を目指し努力をされている人、ボランティアとして参加される人など、様々な立場・角度から「オリンピック・パラリンピック競技大会」に触れ、地球規模でのスポーツの祭典を盛り上げてください。そして、各々が生涯にわたってかけがえのない財産を獲得してください。

大正11年、代々木に二階堂体操塾を創立した時から、一貫して「時代をリードする女性リーダーの養成」を目指し教育を実践し、今もなおその熱い思いは日本女子体育大学での教育研究で実践され、これから皆さんの中に受け継がれていくことと思います。

ぜひ、この貴重な時間を多くの師と友と共に充実して過ごしてくださるよう、そして、二階堂トクヨの目指した「女性リーダー」の素地を築いて卒業していただくことを望みます。

一言お祝いを申し上げて、私の挨拶といたします。
おめでとうございます。

平成31年4月3日

学校法人二階堂学園
理事長 小林 敬治